



「ものづくり補助金」による 中小企業支援

衆議院議員・衆議院経済産業委員長
公明党中小企業政策研究議員懇話会会長

富田茂之

新年明けましておめでとうございます。

昨年10月には消費税が10%にアップし、軽減税率も導入されました。TKC会員の皆様には大変なご苦勞をおかけしたと思いますが、制度の定着に向け全力を尽くしてまいりますので、ご理解・ご協力を頂ければ幸いです。

昨年10月23日、財務省で開催された財政制度等審議会で、「ものづくり補助金」について、次のような議論がなされたそうです。

——補助金の実績をみると、「5年以内に事業化を達成した事業が半数を超える」というKPIは達成されているが、そもそも事業化の定義は、「開発された製品が一つ以上販売されていること」であり、KPIとして妥当でない。また、採択された事業者の大半が、通常2分の1よりも高い補助率3分の2が適用されていることを踏まえてもKPIとして妥当性を欠く——。

——設備投資やIT投資などの成長投資を通じた生産性向上に意欲的な中小企業への支援に重点化するとともに、適切なKPIの設

定やフォローアップの着実な実施が必要、等々——。

実は、「ものづくり補助金」に関しては「補助事業者全体の付加価値額が15%以上増加」もKPIとして設定しており、フォローアップ結果は両目標を上回って順調に推移しているのです。

財政制度等審議会ではこの点の事前説明が抜け落ちており、中小企業・小規模事業者の現場のご苦勞も知らず、上から目線のとんでもない議論がなされました。予算を削除したい財務省の魂胆がミエミエです。

「ものづくり補助金」が、中小企業・小規模事業者の生産性向上にどれだけ貢献しているか。私の地元で他社にできないだけ貢献している。私を持ち、汎用旋盤をメインに精密金属部品加工を請け負っている会社を紹介しています。

私が20年程前、同社の会長に初めてお会いした時は、独立したばかりで、油まみれになりながらお一人で旋盤を操作されていました。

5年前、工場を移転したから一度見に来てとお誘いを受け訪問。息子さんが金融機関か

ら転職され事務に。従業員も高卒の若い方5名、ベテランの技術者5名の布陣に。2年前に訪問すると、従業員は16名に。息子さんは社長に就任。私がアドバイザーした「ものづくり補助金」を活用して、最新のコンピュータによる数値制御装置（CNC）を導入。関東周辺では同社にしかできない大径で長尺な金属製品を扱えるようになり、仕事の幅が大きく広がったとの事。ただ最新のコンピュータ制御装置でも、旋盤は最後は長年培った技術で0.0何ミリ単位のところはやはり職人がやらなきゃ駄目なんだとの事。

中小企業・小規模事業者の皆さんは、日々この様に努力され、「ものづくり補助金」は間違いなく中小企業等の生産性向上に役立っているのです。

中小企業庁でも、事業者の成長に対する更なる意欲・コミットを引き出す制度への見直しを図るべく、事業達成割合の数値目標引き上げやKPIの設定（付加価値向上目標の達成事業者割合等）の検討に着手しました。

TKC会員の皆様には、中小企業・小規模事業者が、ものづくり補助金申請のための事業計画やモニタリングをきちんと実施できるよう、日頃から自社の経営状況や強みの把握等「事業の磨き上げ」を顧問税理士としてしっかり伴走しながらご支援頂ければ幸いです。私も経済産業委員長として中小企業を全力で支援してまいります。